

市民と笑顔でふれあい 天皇皇后両陛下が 甲賀市をご訪問



▲市役所水口庁舎に到着された両陛下

32年ぶりのご訪問に 市民あげての歓迎

32年前の昭和50年、滋賀県で開催された全国植樹祭の際、昭和天皇皇后両陛下が旧水口町と旧土山町、旧信楽町にお立ち寄りになりましたが、今上天皇のご訪問は初めてで、当市にとって記念すべき日となりました。

午後からは、時折冷たい雨まじりの風が吹いていましたが、JR貴生川駅前をはじめ、国道307号などの沿道やお立ち寄り先では多くの市民の皆さんがお出迎えしました。



▲貴生川駅のプラットホームで中嶋市長と服部市議会議長のお出迎えを受けられる両陛下

両陛下をお迎えして

市長 中嶋武嗣

この度、天皇皇后両陛下を市民の皆さんとともにお迎えできたことを光榮に思います。

両陛下とは、陶芸の森でのご昼食にご相伴し、市役所水口庁舎でのご休憩にご先導させていただきました。

天皇陛下からは、信楽で日の丸を持った焼物のたぬきが出迎えてくれた喜びのお気持ちをお聞きし、また沿道で市民が雨に濡れていることを大変心配されている様子でした。私からは、市民の皆さんはこの日を心待ちにしておりましたと申し上げたところ、ご満足の様子でした。

また、甲賀は配置売葉が盛んであることをご説明申し上げると、皇后陛下からは、四角い紙風船のことを覚えてい

ことなどを聞かせていただきました。また、お茶について全国茶品評会で甲賀のお茶がグランプリに輝いたことをご説明申し上げると「良かったですね。お茶の花は白くてきれいですね。」とお話しになりました。

わずかな時間ではありましたが、両陛下には、少しでも甲賀市の素晴らしさをお伝えしたいと思っていました。両陛下は穏やかで、お声も通り、終始和やかな様子でした。常に国民のことを考えておられることがひしひしと伝わってきました。両陛下がこれからも仲睦まじくお過ごしいただくことが、国民に勇気を与えることになると思います。

私も天皇陛下からいただいた「市民の幸せのために十分尽くしてほしい」というお言葉を胸に刻み、これからも全力で市政推進に当たっていきたいと心を新たにしました。



▲信楽産業展示館で説明をお受けになる両陛下

信楽高校生らに励ましのお言葉

（県立陶芸の森）

創作研修館の共同作業室では、地元陶芸家による信楽焼の伝統技法を興味深くご覧になり、外国人陶芸家とは英語で言葉を交わされました。

また、制作活動中の信楽高校生たちに、天皇陛下は「将来はこの道に進むのですか」とお尋ねになり、皇后陛下は「よい作品が仕上がりますように」などと励ましのお言葉をかけられました。

信楽産業展示館では、信楽陶器総合展の入賞作やエコ土作品コーナーなどをご覧になりました。特に壁面緑化タイルのコーナーでは、天皇陛下はお顔をお近づけになり、コケに触れられ、「新しい試みをしてもらえるんですね」と感心されている様子でした。



▲貴生川駅南口から御発されました



▲沿道で温かく両陛下を迎える多くの市民の皆さん

両陛下が笑顔で手を振られ

（JR貴生川駅へご到着）

両陛下は午前11時ごろの特別列車でJR貴生川駅に到着されました。

貴生川駅南口は、両陛下のご到着を待つ市民が午前8時過ぎから詰めかけました。両陛下のお姿が見えると、皆さんは日の丸の小旗を振って歓迎、両陛下は笑顔でお手をお振りになりました。



▲外国人陶芸家とは英語で交流されました

天皇皇后両陛下が甲賀市をご訪問